

「ゲームプロゼミ」(高橋順子ゼミ) ゼミ生の声

2019 年度ゼミ生 17JC1047 大野 磨秀

17JC1147 武部 圭悟

私たちは、昔からゲームが好きで、今まではただ遊んでいるだけだったゲームを実際に自分で作ることができるゼミがあるということを知り、ゲームプログラミングゼミに参加しました。ゼミの活動の中で、私たち二人ともプログラミング初心者でしたが、先生のわかりやすい指導もあり、教科書に沿って様々なサンプルゲームを作ることによって、着実にプログラミングの能力を身につけていきました。そして最後には、自分たちで一からゲームを作成することができるまでに成長しました。

ゲーム作成を通して学んだことを生かして IT 関係の仕事に就職する先輩たちもいて、楽しく活動しながら、興味のある分野への就職も目指すことができるのがこのゼミならではの特長だと思います。先輩たちと話す機会も設けてくださるので、聞きたいこととか疑問に思っていることを解決することができて、色々な面でこのゼミに入ってよかったと思います。

今年度の夏のゼミ合宿では、静岡県伊東に行き、大室山やシャボテン動物公園などの観光名所に遊びに行きました。観光を楽しんだあとで疲れながらも、協力しあってゼミ合宿中には課題を終わらせることができました。2人という少ない人数にもかかわらず、観光もプログラミングも楽しく行うことができて、いい思い出作りにもなりました。

プログラミングと聞くと、やはり難しい印象を持たれると思いますが、ほとんどの人がほぼ初心者からのスタートで最初から最後までほぼマンツーマンで教えてくださるため、自分にあった進行の速さでプログラミングを学ぶことができると思います。少人数のゼミということもあり、気軽に発言できる環境、作業に没頭できる時間の確保がされているので、全員が楽しく取り組むことができると思います。是非、このゼミに参加することを検討してみてください。

↓シャボテン動物公園のカピバラ



↓左が武部圭悟、右が大野磨秀

